

## 授業アンケートを活用した授業改善

### ■講師



澤田 忠幸

(愛媛県立医療技術大学 保健科学部看護学科 准教授)

京都大学大学院文学研究科(心理学専攻)博士課程単位取得満期退学。2004～2007年度の4年間、愛媛県立医療技術大学FD委員を務める。授業評価アンケートの導入に携わるとともに、その後も心理学の観点から授業評価アンケート研究に取り組む。また、2009年度より初年次教育の企画・運営を担当している。2012年度第1期MOSTフェロー(京都大学高等教育研究開発推進センター)。

### ■プログラム概要

今日ほぼ全ての大学で、授業アンケートが実施されています。実施することが当たり前となった一方で、一時のブームは過ぎ去り、実施の形骸化や効果への疑問の声も指摘され始めています。

その背景には、導入期のような授業アンケートに対する信頼性や妥当性、あるいは学生の評定能力に対する疑念や感情的拒否感とは異なり、授業アンケートの結果をどのように解釈し、どのように活用すればよいのかといった戸惑い、アンケートを実施しても授業や学生の学修の改善につながらない、実施する意味はあるのかという、ルーティン化された中での「やらされ感」があるように感じられます。

この研修会では、ご持参いただいた授業アンケートを使いながら、「授業アンケートで何が分かるのか」「どうすれば授業の改善に結びつけることができるのか」について、大学組織にとって、あるいは教員個人にとって、様々な視点から一緒に考えてみたいと思います。

### ■主な受講対象

教員(所属機関で実施されている授業アンケート用紙をご持参ください。また、ご自身で作成され、活用されているものがあれば、あわせてご持参ください。)

### ■本プログラムの到達目標

1. 授業アンケートの種類、目的、効果と限界を説明することができる
2. 現在使用している授業アンケートの特徴を説明することができる
3. 授業アンケートを活用して、授業改善を行う手だてを見つけることができる
4. 授業アンケートをより良いものするための工夫や改良点を考案することができる

### ■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成25年8月22日(木)13:00～15:00

会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミュージズ 3階 M32教室

定 員 : 40名